

小麦新奨励（認定）品種「さとのそら」の特性

1. 試験のねらい

栃木県では、日本めん用の小麦として、農林61号およびイワイノダイチが栽培されている。農林61号は、昭和27年に奨励品種として採用され、長期間にわたって栽培されてきたが、倒伏しやすく、成熟期が遅い等の問題があり、面積が減少傾向にあった。そこで、栽培性に優れ、製粉性・製めん適性が優れる早生品種を選定し、栃木県で生産される小麦の高品質化と安定生産を図る。

2. 試験方法

さとのそらは、平成6年4月に群馬県農業試験場において、「東山25号（後のしゅんよう）」を母に、「西海168号（後のきぬいろは）」を父として交配を行い、以後選抜固定を図って育成され、平成22年10月に品種登録された。本県では平成17年度から配布を受け、奨励品種決定予備調査に供試した結果、成績が良好だったので、平成19年度から奨励品種決定本調査に供試するとともに、現地調査にも供試して現地4ヶ所での地域適応性を検討した。その結果、早生で、耐倒伏性に優れ、多収であり、製粉歩留まりも優れていることから、平成23年3月に奨励（認定）品種として採用された。

本場での試験は、場内水田（灰色低地土、灰褐系）で実施した。耕種概要は、10月31日～11月1日に、30cm条間ドリル播で播種した。播種量は0.8kg/aとした。施肥量は、N1.0kg/a（内緩効性LP40でN40%）、P2051.3kg/a、K201.0kg/aとし、追肥は施用しなかった。

3. 試験結果および考察

さとのそらは農林61号と比較して、次のような特徴がある。

- (1) 出穂期は4日、成熟期は4日早い早生種である（表－1）。秋播性程度はIV（育成地特性検定データ省略）。
- (2) 稈長は短く、穂長は同程度であり、穂数は多い。耐倒伏性は優れる（表－1）。
- (3) 収量性は同程度～やや多収。容積重はやや軽い（表－1）。
- (4) うどんこ病・赤さび病・小麦縞萎縮病に強い（育成地特性検定データ省略）。赤かび病は同程度（表－1）。
- (5) 灰分が少なく、製粉歩留が高い（表－2）。
- (6) 粉色は同程度。農林61号と同様の通常アミロース含量。生地物性がやや弱い（表－2）。
- (7) 製めん時の色はやや優れる。食感と同程度（表－3）。

4. 成果の要約

栃木県奨励（認定）品種として採用された小麦「さとのそら」は、農林61号より4日程度早生で、耐倒伏性に優れ、多収であり、製粉歩留まりも優れている。栽培に当たっては、極端な早播きは避け、適期播種に努める。

また、赤かび病に対しては農林61号と同程度であり、防除を徹底する。

（担当者 作物技術部 麦類研究室 湯澤正明*）*現芳賀農業振興事務所

表一 1 奨励品種基本調査

| 品種名 | 出穂期 月日 | 成熟期 月日 | 稈長 cm | 穂長 cm | 穂数 /m ² | 倒伏 程度 | うどんこ 病 | 赤か び病 | 子実 重 kg/a | 同左 比率 % | 容積 重 g | 千粒 重 g | 原麦 粗蛋 白% | 検査 等級 |
|-------|-----------|-----------|----------|----------|-----------------------|----------|-----------|----------|-----------------|---------------|--------------|--------------|----------------|----------|
| さとのそら | 4.24 | 6.13 | 84 | 8.2 | 623 | 0.4 | 0.0 | 0.3 | 47.5 | 104 | 773 | 37.3 | 10.1 | 1上 |
| 農林61号 | 4.28 | 6.17 | 101 | 8.1 | 570 | 1.9 | 0.5 | 0.0 | 46.4 | 100 | 785 | 37.4 | 10.1 | 1上 |

注. データはH17~21年産の5か年平均。検査等級は栃木農政事務所による評価。容積重はリットル枳による測定。原麦粗蛋白は、S社製近赤外光分析計で測定。

表一 2 製粉適性評価

| 品種名 | 原麦試験 | | 製粉試験 | テストミル60%粉試験 | | | | | |
|-------|------|-----|-------------|-------------|----------|-----------|----------|-----------|------|
| | 灰分 | 蛋白 | ミリング スコア | 色 | | ファリノグラム | | アミログラム | |
| | % | % | | C.G.V | 粉の白 さ | 粉の明 るさ | 生地強 さ | 生地弱 化度 | 最高粘度 |
| | | | | R455 | R554 | V.V | BU | BU | |
| さとのそら | 1.62 | 9.6 | 80.2 | -1.7 | 59.3 | 79.5 | 36 | 130 | 858 |
| 農林61号 | 1.72 | 9.5 | 74.0 | -1.7 | 62.1 | 79.3 | 42 | 105 | 936 |

注. 分析評価：製粉協会。供試サンプル：本場(宇都宮市)。データはH18~21年産の4か年平均。

表一 3 製めん適性評価

| 品種名 | 生めん 色 (5) | ゆで時 間 (分) | ゆで歩 留まり (%) | めん官能評価 | | | | | | |
|-------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------|------------|-------------|-------------|--------------|------------|-------------|
| | | | | 色 (20) | 外観 (15) | 食感 | | | 食味 (15) | 合計 (100) |
| | | | | | | かたさ (10) | 粘弾性 (25) | 滑らかさ (15) | | |
| | | | | | | | | | | |
| さとのそら | 3.1 | 21 | 326 | 14.4 | 10.5 | 7.0 | 17.6 | 10.7 | 10.5 | 70.7 |
| 農林61号 | 3.0 | 21 | 311 | 14.0 | 10.5 | 7.0 | 17.5 | 10.5 | 10.5 | 70.0 |

注. 分析評価：県内K社。供試サンプル：本場(宇都宮市)。データはH18~21年産の4か年平均。